

報告資料（2）

「企業と連携した子供応援事業」の3か年の取組について

事業開始の経緯

(平成27年度全国都道府県教育長協議会第2部会 研究テーマ)
 「子供の貧困対策における社会教育の支援の在り方について」
 ◇社会教育は「全て」の子供を対象とする

(第11期千葉県生涯学習審議会第1回会議及び平成27年度第3回千葉県社会教育会議)
 「子供の貧困対策における社会教育の支援について
 — 千葉県における今後の取組 —」
 ◇既存の事業を見直し社会教育における貧困対策にもつながる取組を把握
 「貧困対策を主たる目的として行っているものではない取組も、貧困の家庭や子供への支援として有効である」(例) **放課後子供教室**

「全ての子供を対象にするということは大事」(委員意見)
 「**企業**とタイアップし、お互いの利益になる形で」(委員意見)

(千葉県の新たな取組として平成28年度に開始)
「企業と連携した子供応援事業」(平成28～30年度期限事業)

放課後子供教室推進事業

国庫補助事業:国・県・市町村各1/3 (平成19年度～)

目的 放課後等における、全ての子供たちを対象とした安全・安心な活動拠点(居場所)づくり
実施主体 市町村 (政令・中核市を除く)
 28年度 29市町 202教室
 29年度 31市町 213教室
 30年度 31市町 241教室

ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度

(平成23年度～)

目的 企業の持つ技術等は貴重な教育的資源であることから、教育分野での社会貢献活動に取り組む企業と千葉県教育委員会が連携し、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを育てる環境づくりを推進する。
登録事業所数 483(H31.1.31現在)
 製造業、販売業、サービス業、金融業、教育・福祉・病院関係、その他
 28年3月末現在 406事業所
 29年3月末現在 415事業所
 30年3月末現在 476事業所

11の事業をつなぐ

企業と連携した子供応援事業

目的 子供の健やかな成長を支援する「ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度」と、放課後や週末等に学校の余裕教室を活用して交流活動等に取り組むなど心豊かで健やかな子供の育成を目指す「放課後子供教室推進事業」をつなぎ、全ての子供を対象とした放課後等の活動を支援する **新たな仕組みを構築**する。

効果 企業と連携することで、「放課後子供教室」における人的・物質的な面での支援が充実し、これまで以上に子供たちの活動の充実、心の安定等が図られ、併せて安心安全な放課後の時間を提供することができた。

モデル教室の実施

野田市 平成28年度 開始
敷島製パン株式会社パスコ利根工場 + 野田市立川間小学校・尾崎小学校
 商品(菓子パン)の提供 放課後子供教室(土曜日開催)

成田市 平成29年度 開始
米屋株式会社 + 成田市立中台小学校 放課後子供教室
 和菓子作り教室、和菓子の提供等

栄町 平成29年度 開始
株式会社ナリタヤ + 栄町立安食台小学校・布鎌小学校
 食育教室 放課後子供教室

君津市 平成30年度 開始
新日鐵住金株式会社君津製鐵所
 + 君津市立八重原小学校 放課後子供教室
 社会人野球チームによるスポーツ体験教室

ノウハウの蓄積

- ◇さまざまな連携のあり方を構築
- ◇アンケート調査
- ◇改善策の協議

- ・放課後子供教室の実態把握
- ・企業の発掘
- ・企業との折衝
- ・安全の確保
- ・保護者及び児童生徒への説明
- ・コーディネーターの負担軽減
- ・活動プログラムの充実等

市町村・企業への周知・啓発

- ◇連携事業への協力依頼
- ◇登録企業の新規開拓

事業成果の発表

- ◇モデル教室で得たノウハウを提供
- ◇平成31年2月8日事業報告会を開催

事業継続について
 それぞれの担当
 者で協議していく

各市町村での
 「企業との連携事業」
 の新規企画・
 実施を想定

28年度

29年度

30年度

31年度～